

## 各部門の課題・参加規定

### (1) アナウンス部門

① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限り。

② エントリー番号・氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。

\*学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名を読む。

### ③ 審査基準

A) 校内放送に使用できる内容であること

B) 審査の視点

#### ◆内容

(ア) 素材の選び方は適当であるか。

(イ) 文章表現は適当であるか。

#### ◆アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で、ニュースが聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。

・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ) 間（ポーズ）は適切か。

・テンポ ・ポーズ

C) 100点法で総合的に採点する。

### (2) 朗読部門

① 次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	華の人 有田に生きた薔薇の 貴婦人・敏子の物語	今日のハチミツ、 あしたの私	ヒヨコの蠅叩き	夜間飛行
著者名 (訳者名)	伊藤 緋紗子	寺地 はるな	群 ようこ	サン・テグジュペリ (堀口大樹訳)
出版社	小学館文庫	ハルキ文庫	集英社文庫	新潮文庫

② エントリー番号・氏名・作者名・作品名を含め、1分30秒以上、2分00秒以内で朗読する。

\*学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名・作者名・作品名を読む。

\*作品番号1については、「華の人」を作品名として読むこと。

\*作品番号1については、小学館文庫版を購入できない場合、Kindle版を購入してください。

\*作品番号3については、書名を作品名として読むこと。（短編名を読まない）

\*作品番号4については、訳者名は読まない。また抽出する作品は「夜間飛行」のみとする。

\*抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中での開始や終了は「改変したもの」とみなす。本文中の（ ）内は省略してはいけない。

### ③ 審査基準

A) 審査の視点

#### ◆内容

(ア) 作品の選定は適当であるか。

(イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

#### ◆朗読の技術

(ア) 自然な発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

・演技調など、過度に演出されているものは高く評価しない。

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。

・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ) 間（ポーズ）は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(エ) ドラマ調・演劇調・一人芝居調など、過度に演出されているものは高く評価しない。

B) 100点法で総合的に採点する。

(3) アナウンス部門・朗読部門に共通する事項

- ① 規定の用紙(様式1-1、1-2)を使用し、袋とじ(仕上りA5判)とする。第1頁を表紙とし、本文は第2頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶす。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。

(4) ラジオ番組部門

- ① 作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。
- ② 作品の最後に「制作は〇〇高校放送部(委員会)でした」とクレジットコールを入れる。
- ③ クレジットコールには、BGM・SEなど他の音声を重ねてはいけない。
- ④ 計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。
  - a. 作品は、mp3データ形式とする。
  - b. 番組進行表の表紙上部の○枠は「赤」で塗りつぶす。

(5) テレビ番組部門

- ① 作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。
- ② アスペクト比は、16:9(ワイド)とする。
- ③ テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。
- ④ 作品の前後5秒間に、規定(様式3)のテストパターンを入れる。テストパターンは、大会ホームページよりダウンロードして使用する。
- ⑤ 作品は、再生ボタンで再生が始まるようにする。メニューを入れない。
- ⑥ 計時は、テストパターン(カラーバー)を除いた本編部分について行う。
- ⑦ 作品MPEG-4/H.264AVCのデータ形式とする。
- ⑧ 番組進行表の表紙上部の○枠は「青」で塗りつぶす。

(6) ラジオ番組部門・テレビ番組部門に共通する事項

- ① 高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒、かつ「**参加資格**」の条件を全て満たす者のみに限る。

② 審査基準

A) 校内放送に使用できる内容であること

B) 審査の視点

◆テーマ(伝えたい内容)

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

◆制作技術

- |           |             |               |
|-----------|-------------|---------------|
| (ア)メディア選択 | (イ)制作方法     | (ウ)取材の方法や努力   |
| (エ)企画・構成  | (オ)演出・編集    | (カ)音声や効果音の使い方 |
| (キ)内容伝達力  | (ク)番組進行表の作成 |               |

C) 100点法で総合的に採点する。

- ③ 作品のタイトルは、副題も含めて15文字以内を厳守する。  
\* 作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大30文字(スペース含む)までとする。
- ④ 番組進行表は、後述の「**様式規定**」で作成する。
  - 1頁(様式3-1)学校名・作品名・時間・制作意図(200字程度)・スタッフ/キャスト(学年)
  - 2頁(様式3-2)必要枚数を綴じ合わせたCUEシート
  - 3頁(様式3-3)使用著作物一覧\* 必要に応じ、音源使用許諾(様式3-4)・取材許諾・著作物提供許諾(様式3-5)を添付する。  
\* 必要に応じ、著作権処理確認資料(右上に著作物番号を朱書きする)を添付する。
- ⑤ 作品のメディア本体にはラベルを貼らず、以下の項目をディスク自体に直接記載(プリンタによる直接印字/ペンによる手書き)する。
  - ①部門名 ②エントリー番号 ③県名 ④学校名 ⑥作品名 ⑦メディアの種類
  - ⑧用途(審査用・再生用・バックアップのいずれか)
- ⑥ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権・著作隣接権の処理を本大会開始までに確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を

- 用いることが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表の末尾に添付する。
- ⑦ いわゆる著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。なお、著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、「校内放送研究 第69回 NHK 杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会（以下、NHK 杯とする）要項」の **p. 20** で定めたものと同じとする。
  - ⑧ JASRAC への手続きと支払いは出場校が行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する
  - ⑨ 参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）に帰属する。
  - ⑩ その他の詳細に関しては、NHK 杯要項の **p. 17～p. 22** の注意事項に準じる。
  - ⑪ 様式等については、本大会規定のものを使用する。